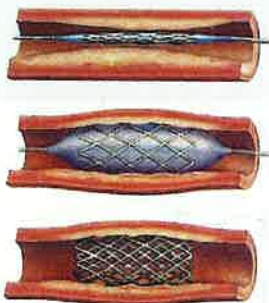


医療コラムの2回目、「虚血性心疾患」後編となります。前編を見ていないという方は、○日付の伊達民報欄に掲載していますので、まずはこちらをお読みください。

虚血性心疾患 下



冠動脈を検査 治療選択

真で冠動脈に造影剤が流れている状況を確認診断するための最終検査であり、後述するカテーテル治療やバイパス手術などの治療法を選択する上で

冠動脈がどのように狭くなっているか確定診断するための最終検査であり、後述するカテーテル治療やバイパス手術などの治療法を選択する上で

虚血性心疾患は適切な治療のタイミングを間違え、生命の危機につながる怖い病気です。今回のコラムを読んで気になる症状があるという方は、まずはお近くの循環器科の先生に相談してみることをお勧めします。

ているかどうか詳細にチェックすることができま

す。一方で心臓CT検査は、造影剤を用いて冠動脈を画像化することが可能であり、虚血性心疾患の検査として非常に優れています。これらの検査で虚血性心疾患が疑わしいと判断された方は、入

院してカテーテル検査を受けていただく必要が出てきます。カテーテル検査は、手首や足のつけ根の血管から挿入したカテーテルを用いて、冠動脈に直接造影剤を注入し、レントゲン写

も大切な検査になります。虚血性心疾患の治療は次の通りです。冠動脈の狭窄（きょうう）がひどくなければ

を作る治療法です。冠動脈が狭くなっている箇所より先の部分に体の別の場所から採取した血管をつなぐことで、冠動脈の流れを改善させます。上記の治療は患者さんや冠動脈の状態を総合的に判断し、適切に選択することになります。具体的な治療の詳細を紙面でお伝えするのは、なかなか難しいのが本音です。実際にカテーテル検査や治療が必要になった方には、主治医の先生が図や写真を用いて詳しく説明してくれると思いますので、しっかりと話を聞くようにしましょう。